

臨床美術の
現場から

36

暮らしの中にアートを楽しみを

グループハウスプラタナス
グループハウスプラタナス池の前
【北海道旭川市】

❖ 始まりは社長の飛び入り体験から

「グループハウスプラタナス」には20人、「グループハウスプラタナス池の前」には15人の高齢者の方々が生活されています。私はここで介護職員をしています。日々接する入居者の皆さんに臨床美術の楽しさを伝えるはじめて7年目を迎えました。

始まりは、私が臨床美術士4級を取得する際、実習をさせてもらったことでした。

実習の当日、社長が飛び入り参加され、「これは楽しい、そしてなんだか気持ちいいね！ 続けてやってください」と勧められました。それから「みんなでアート」と名付けてスタートしました。耳が遠い方、認知症がある方へのサポートをスタッフの協力を得ながら各毎月1回ずつのセッション実施を目標にしています。現場の状況によりスタッフの協力が困難な時は無理をせず休んでいます。

また、新型コロナウイルスの影響が心配されますが、内部の職員ということで感染対策をとり継続しています。

❖ 「夏トマトを描く」

はじめはほとんどの方が絵は苦手と参加を嫌がられます。描く面白さ、お互いの作品を見る楽しさの体験を繰り返すうち、当たり前のように参加されるようになります。

「夏トマトを描く」には95歳と92歳の2名の方が初めて参加されました。指に力が入らない、オイルクレパスがうまくつかめないと困り顔。夏トマトは20cm×18cmにカットした工作用厚さ2ミリの透明プラスチック板に描きます。指先に力が入らないと、紙とは違い色が出にくい様子



オイルクレパスを根気よく塗り重ねる



プログラム「夏トマトを描く」の制作風景

でしたが、プラスチック板の表と裏から根気よく塗り重ねてビタミンカラーに仕上がりました。

鑑賞会では「おいしそうなあ！」「力強いトマトだ」「夏だねー」と、季節を先取りした感想もでした。今回のモチーフは出始めの美瑛産の温室トマトで、夏本番の露地トマトはまだ先です。15時のお茶の時間には乾燥トマトやトマトジュースを、参加されなかった入居者さんも交えて味わいました。

鑑賞会の後は廊下に作品を展示します。「今日は何描いたの？」と調理員さんも出てこれ、いつも作品を見てくださいます。そしてモチーフとなったトマトは食材となり、夕食に出されました。

❖ 臨床美術の周囲への広がり

職員の内部研修として臨床美術体験会を3回行いました。「やあ夢中になれるね」「いやだと思っていたけど、楽しかった」「いつもと違う会話ができた」と感

想が寄せられました。普段にはないコミュニケーションの場となりました。

ご家族からは「もっとやってください」「面白そうですね」「認知症予防になるなら私もやらなきゃ」との声が聞かれます。

玄関には季節に合った作品を飾り、外部の方の目にとまり「いいね」「お年寄りが描いたの？

びっくり！」など感想が寄せられ励みとなっています。

❖ 初めての作品展

昨年の11月15日から12月15日まで北陸銀行旭川支店ふれあいギャラリーにて、初めて入居者とスタッフの作品を展示することになりました。作品展開催にあたり北陸銀行ギャラリー担当の2名の方が「臨床美術ってなに？ 体験させてほしい」と申し出がありました。「さつまいもの量感画」のアートプログラムを体験され、いっしょに作品を展示しました。

❖ ひとつ屋根の下で

希望される方は施設で最期を迎えられます。

臨床美術のプログラムに参加されていた入居者が亡くなられた時は、真剣に取り組んでいた姿が思い出されます。「これしかできななあ」「柿は良く描けた、気に入っている」などご本人の言葉も…。残された作品は大事に保管しています。機会を見て施設内で作品展をしようと思っています。

ひとつ屋根の下で暮らす入居者の方々がアートの楽しみを生活の中で感じあえるようスタッフと協力しながら続けていきたいと願っています。

【臨床美術士 中村真知子】



職員内部研修の体験会



北陸銀行旭川支店で初作品展



土偶制作にもチャレンジ

◎株式会社 てとら

◆グループハウスプラタナス

〒078-8316 北海道旭川市神楽岡6条6丁目1番1号
TEL:0166-60-5150

◆グループハウスプラタナス池の前

〒078-8318 北海道旭川市神楽岡8条2丁目1番13号
TEL:0166-74-4780

アートセラピー「臨床美術」とは

絵やオブジェなどの作品を楽しみながら作ることで脳を活性化させ、高齢者の介護予防や認知症の予防・症状改善、働く人のストレス緩和、子どもの感性教育などに効果が期待できる芸術療法（アートセラピー）のひとつです。

1996年に医師、美術家、ファミリーケア・アドバイザーがチームとなって実践研究をスタートさせました。医療・美術・福祉の壁を越えたアプローチが特徴の臨床美術は、介護予防事業など認知症の予防、発達が気になる子どもへのケア、小学校の特別授業、社会人向けのメンタルヘルスケアなど多方面で取り入れられ、いきいきと人生を送りたいと願うすべての人へ希望をもたらしています。

◆芸術造形研究所ホームページ

<http://www.zoukei.co.jp/>

◆日本臨床美術協会ホームページ

<http://www.arttherapy.gr.jp/>

表紙掲載作品

プログラム名「夏トマトを描く」 制作者：グループハウスプラタナス／池の前臨床美術参加者